

第9回 豊川市交通協議会 資料

<目 次>

1. 【報告事項（１）】豊川市地域公共交通計画の進捗状況等
2. 【報告事項（２）】令和７年度デマンド型交通実証実験の実施結果
3. 【報告事項（３）】自動運転バス実証実験の実施結果
4. 【報告事項（４）】豊川市内バス小学生運賃無料キャンペーンの実施に伴う運賃の変更について
5. 【協議事項（１）】令和８年度の事業と予算（案）
6. 【協議事項（２）】豊川市総合交通戦略（案）
7. 【協議事項（３）】豊橋市コミュニティバス「柿の里バス」の変更について（案）

令和８年３月９日

2. 【報告事項（2）】令和7年度デマンド型交通実証実験の実施結果

1月に実施したデマンド型交通実証実験について結果を報告するものです。
・利用者数は175件（延べ263人）で、1日あたりでは17.5人が利用。本宮線のんほい号の1日あたり利用者13.7人を上回りました。

2-1. 調査概要

自宅から「決められた目的地」（コミュニティバス本宮線のんほい号バス停）まで、または「決められた目的地」から自宅まで、1台片道300円で移動できるタクシーサービス「おためしカー」の実証実験結果は下記のとおり。

（1）事業目的

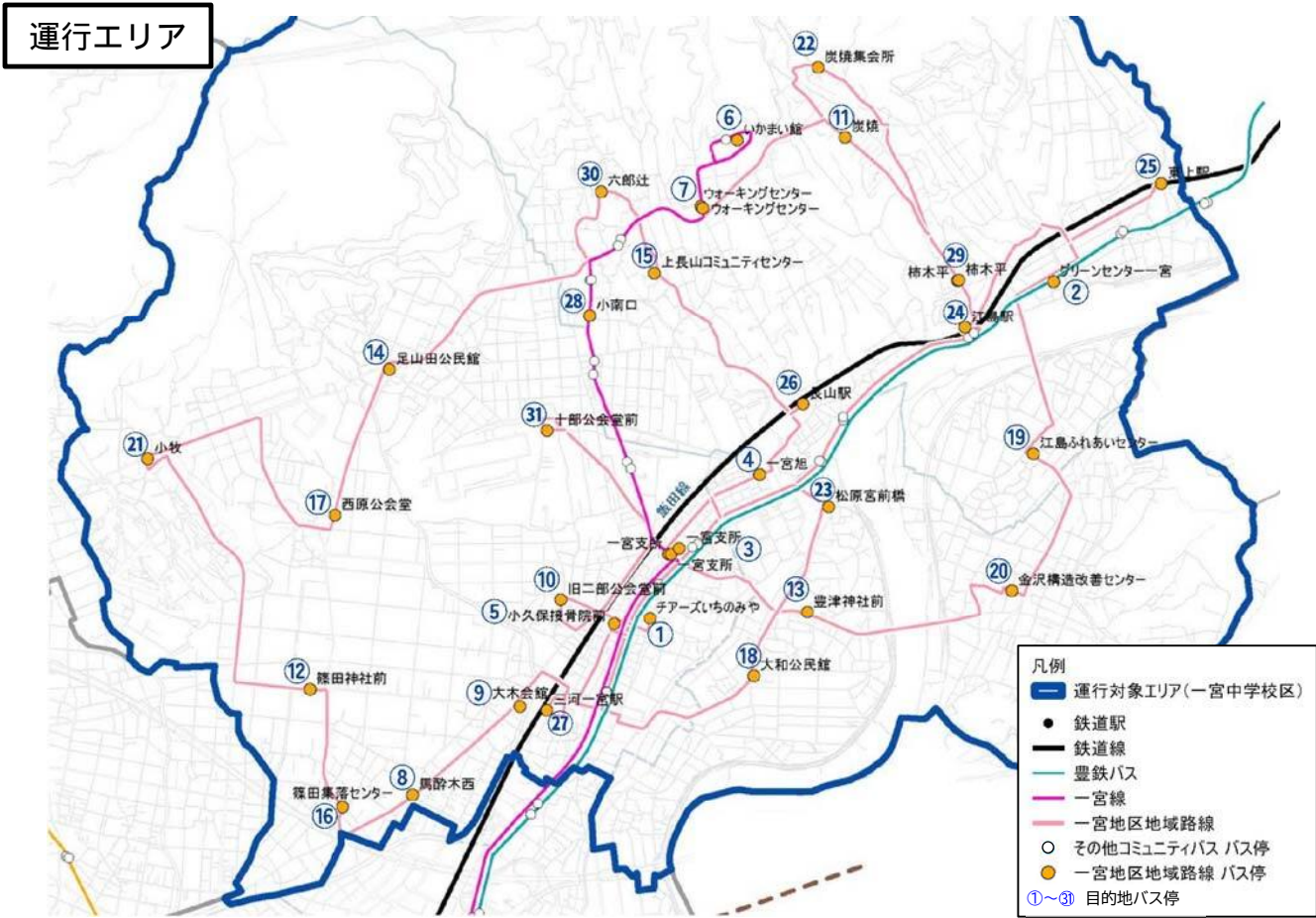
一宮地域の公共交通の課題（ ）を解決する新規移動手段の検討。本格的な実証実験に向けた運用方法の確認。
一宮地域の公共交通の課題...バス停まで遠い、乗り換えに時間がかかる、本数が少ない等（令和5年度公共交通に関する市民アンケートより）

（2）検証のポイント

- ・需要見込み...47人/日（R6年度本宮線のんほい号利用者14人/日程度＋新規利用者33人/日程度想定）
- ・市の負担額見込み...30万円程度
- ・利用者アンケート、未利用者アンケート、事業者アンケートの結果...満足度や課題等を把握する。

（3）実証実験期間

令和8年1月13日（火）～1月31日（土）までの合計15日間運行
日曜・月曜は運休
期間中はコミュニティバス一宮地区地域路線の運行を休止



2-2. 結果のまとめ

（1）アンケート結果及び実施結果まとめ

利用者アンケート116件、未利用者アンケート16件、事業者アンケート2社について、以下のとおりまとめました。

項目		結果
利用者	知った理由	広報（35%） 回覧板（32%）
	利用属性	平均年齢78歳
	目的地 利用目的	目的地（自宅を除く）は「いかまい館」が最多（23.4%） 利用目的は「買い物」が最多（22.1%）
	満足度	「満足」「まあ満足」を合わせて91%
	本宮線のんほい号との比較	おためしカーの方がいい（84件：72%）
	乗降スポットにしてほしい場所	医療機関（安形医院、一宮クリニック、大きな病院等） ケアハウスみその 認知症カフェボルク 他
未利用者	利用しなかった理由	行きたいところへ行けなかったから（63%） 予約が面倒だったから（31%）
	本宮線のんほい号との比較	おためしカーの方がいい（8件：50%） 本宮線のんほい号の方がいい（6件：37.5%）
事業者	困りごと 大変だったこと	・制度を利用できるかの判別が難しい場合があったこと。 ・予約や空車確認等に手間を要したこと。 ・時間帯によっては配車できない、または遅れることがあったこと。 ・制度の理解が十分でないことによる説明、対応等の手間を要したこと。
	メリット 良かったこと	・稼働が少ない時間帯での仕事の増加。 ・乗務員のモチベーション向上。
行政	利用者数	結果：175件（延べ263人）、17.5人/日（見込47人/日） 本宮線のんほい号の約13.7人/日（R6実績）より増加
	市の負担額	結果：371,420円（見込30万円） 年換算では約644万円（371,420円/3週×52週） 本宮線のんほい号の約900万円/年（R6実績）より減少
	利用者1人あたりの市の負担額	結果：1,412円/人 本宮線のんほい号の2,579円/人（R6実績）より減少
	利便性	バス停まで遠いなどの理由で「本宮線のんほい号」の利用が困難であった方が移動できるようになった。
	その他	1乗車あたりの平均利用者数は1.5人 1件あたりのメーター運賃平均2,393円

（２）結果から考えられる課題、改善すべきこと等

① 利用者視点

- ・乗降スポットの希望として医療・介護関係の施設が目立ち、地域のニーズにあった乗降スポットの設定が課題である。

② 未利用者視点

- ・未利用理由で「行きたいところへ行けなかったから」の多さや、ドアツードアの改善要望の多さから、地域のニーズにあった乗降スポットの設定が課題である。
- ・「予約が面倒」で利用しないことについては、容易さやわかりやすさの確保と周知の徹底が課題である。

③ 交通事業者視点

- ・タクシーの空き車両の都合で予約ができなかった例もあり、配車の効率性向上や車両及び要員数の確保など、供給力の向上が課題である。
- ・利用者の制度利用可否の確認、予約・空車確認等の手間が円滑な業務遂行の妨げになったことから、交通事業者にも配慮した制度設計や、人の関与を減らすシステム導入の検討が課題である。
- ・周知の不十分さが要因の手間の増加については、行政と連携を図ることで改善可能と考えられる。

④ 行政視点

- ・適正な運賃設定により、行政及び交通事業者の持続性確保が課題である。
- ・利用対象者を判別して円滑な配車を行うため、利用者登録の検討が課題である。
- ・配車の効率性向上のため、ダイナミックプライシング（例：需要の多い午前の利用料を増額、需要の少ない午後の利用料を減額）の検討が課題である。
- ・利用者の利便性向上や周知の支援を図ることが課題である。

（３）今後について

- ・令和８年３月１１日（水）一宮地域公共交通運営協議会にて実施結果を報告・検討。

【 参 考 】

２－３．周知及び利用結果等

（１）周知・広報活動

周知・広報方法	内 容
対面	11/2 本宮まつり チラシ 250 部配布 12/8 介護運動教室（安形医院にて）12 名に周知 12/9 本宮線のんほい号車内 2 名に周知 12/23 本宮線のんほい号車内 5 名に周知 12/26 本宮線のんほい号車内 4 名に周知
チラシ・ポスター配布・掲示（町内会、団体、施設等）	・一宮地域の全町内会（回覧板） ・一宮の老人クラブ ・市老連 ・東上福祉会 ・一宮支所 ※ ・本宮の湯 ※ ・一宮生涯学習センター ※ ・いちのみや児童館 ※ ・いかまい館 ※ ・東部福祉相談センター一宮出張所 ※ ・クックマート一宮店 ※ ・三河一宮郵便局 ※ ・安形医院 ※ ・スギ薬局豊川一宮店 ※ ・豊川市役所本庁舎受付 ・本宮線のんほい号車内 ・本宮線のんほい号バス停 ※印にはチラシとあわせて掲示用ポスターを配布
広報	広報とよかわ 1 月号にトピックスとして掲載

（２）利用件数

175 件（延べ 263 名） 1 日あたり平均 17.5 名
（うち障害者手帳所持者 34 件、小学生以下 0 件）

（３）予約が成立しなかった件数及びその理由

予約不成立件数：8 件

【理由】

- ・希望時間に空き車がなかったため（3 件）
- ・予約者都合のキャンセルのため（3 件）
- ・利用ルール外の移動だったため（決められた目的地から決められた目的地までの移動を希望）（2 件）

（４）利用者のお住まいの小学校区

・小学校区別の利用件数は一宮東部小学校区が最も多く、３地域で大きな差はない。

小学校区	延べ件数	割合
一宮東部小	61	34.9%
一宮西部小	55	31.4%
一宮南部小	59	33.7%
合計	175	

（５）出発地・目的地

・「自宅」を除き「いかまい館」の利用が最も多く、次いで「チアーズいちのみや」「一宮支所」が多い。

出発地	件数	目的地	件数
自宅	95	自宅	80
いかまい館	41	いかまい館	48
チアーズいちのみや	11	一宮支所	10
一宮支所	7	チアーズいちのみや	9
グリーンセンター一宮	5	グリーンセンター一宮	6
一宮旭	4	一宮旭	6
三河一宮駅	4	金沢構造改善センター	3
ウォーキングセンター	2	三河一宮駅	3
金沢構造改善センター	2	ウォーキングセンター	2
馬酔木西	2	篠田集落センター	2
小久保接骨院前	1	小久保接骨院前	2
炭焼	1	旧二部公会堂前	1
合計	175	炭焼	1
		炭焼集会所	1
		馬酔木西	1
		合計	175

（６）利用時間帯

・１１時台の利用が最も多く、次いで１３時台、９時台の順で多い。

利用時間帯	件数	割合
8時台	6	3%
9時台	29	17%
10時台	16	9%
11時台	40	23%
12時台	15	9%
13時台	34	19%
14時台	11	6%
15時台	15	9%
16時台	7	4%
17時	2	1%
合計	175	

2－4. 利用者アンケート結果

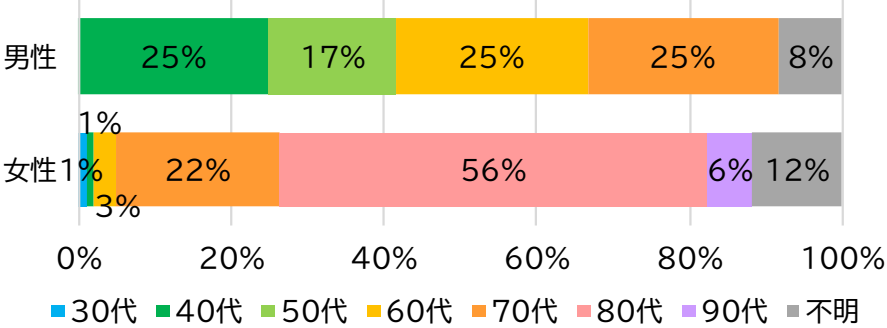
（１）回答者数

１１６件 同一人物からの回答を含む。

（２）年齢別・性別

・女性の利用が大半を占めており、７０代以上が８割以上を占めている。平均年齢は７８歳。

	女性	男性	未回答
10代	0	0	0
20代	0	0	0
30代	1	0	0
40代	1	3	0
50代	0	2	0
60代	3	3	0
70代	22	3	0
80代	57	0	1
90代	6	0	0
不明	12	1	1
合計	102	12	2



（３）利用目的

・「買い物」利用が２２．１％と最も多く、次いで「自宅に帰る」を除くと「その他」のうち、いかまい館等の温浴施設への利用が１４．８％を占めている。

目的	件数	割合	その他内訳	件数
買い物	27	22.1%	風呂(いかまい館含む)	18
自宅に帰る	18	14.8%	カフェなどでお茶をする	9
通院	8	6.6%	ランチなど食事	3
その他	69	56.6%	お出かけ	2
合計	122		会議	2
			登山	2
			集会	1
			趣味会	1
			飲み会	1
			お見舞い	1
			合計	40

※複数回答含む

（４）利用回数

・一人当たりの利用回数は「４回目以上」が３割以上を占め最も多い。

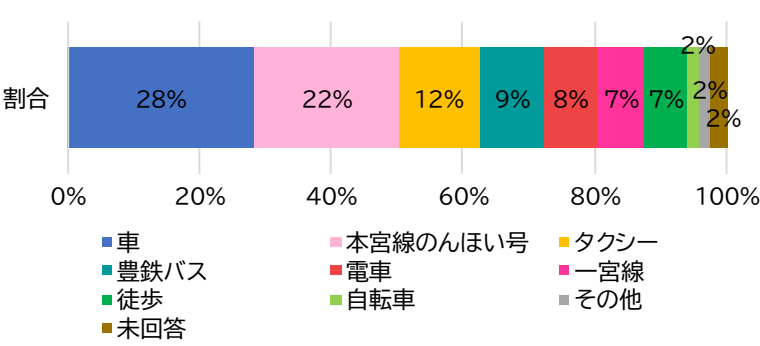
	回答数	割合
1回目	34	29%
2回目	23	20%
3回目	12	10%
4回目以上	39	34%
未回答	8	7%
合計	116	

（５）普段利用する交通手段

- ・「車」が約３割と最も多く、次いで「本宮線のんほい号」、「タクシー」の順で多い。

移動手段	回答数	割合
車	48	28%
本宮線のんほい号	37	22%
タクシー	21	12%
豊鉄バス	16	9%
電車	14	8%
一宮線	12	7%
徒歩	11	7%
自転車	3	2%
その他	3	2%
未回答	4	2%
合計	169	

※複数回答



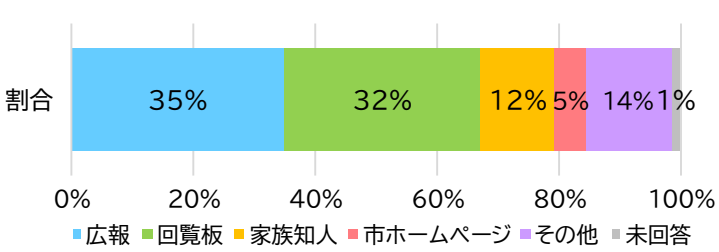
（６）おためしカーをどこで知ったか

- ・「広報」「回覧板」がそれぞれ３割以上で全体の半数を占めている。

移動手段	回答数	割合
広報	49	35%
回覧板	45	32%
家族知人	17	12%
市ホームページ	7	5%
その他	20	14%
未回答	2	1%
合計	140	

※「その他」：クックマートでのちらし、安形医院、バス車内、本宮まつりでのちらし、タクシードライバー等

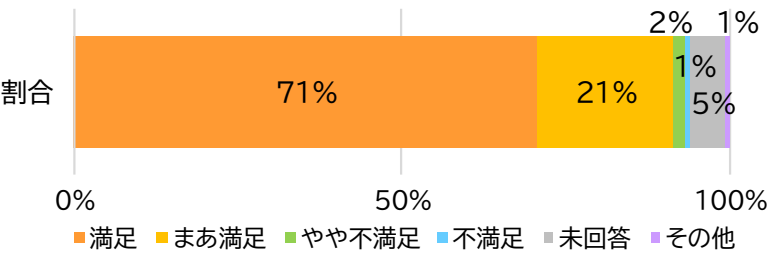
※複数回答



（７）満足度

- ・「満足」「まあ満足」が全体の９割以上を占めている。

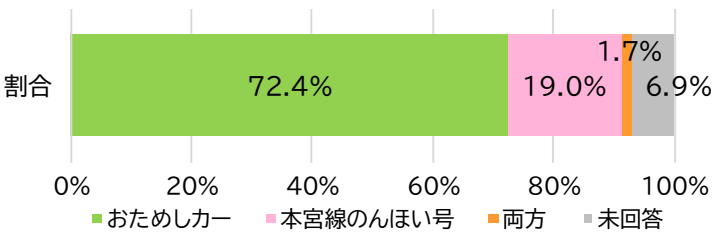
満足度	件数	割合
満足	82	71%
まあ満足	24	21%
やや不満足	2	2%
不満足	1	1%
未回答	6	5%
その他	1	1%
合計	116	



（８）おためしカーとコミュニティバス本宮線のんほい号のどちらの方がいいか

- ・「おためしカー」が７割以上を占め、「本宮線のんほい号」よりも３倍近く回答が多い。
- ・「おためしカー」の方がいい理由は「自宅まで来てもらえる」が多く、「本宮線のんほい号」の方がいい理由は「予約をしなくていいから」が多い。

	件数	割合
おためしカー	84	72.4%
本宮線のんほい号	22	19.0%
両方	2	1.7%
未回答	8	6.9%
合計	116	



（９）おためしカーの乗降スポットにしてほしい場所

- ・「医療機関」が最も多く全体の２割を占めている。

乗降スポットにしてほしい場所	件数	補足
医療機関	16	(安形医院、一宮クリニック、大きな病院等)
ケアハウスみその	15	
認知症カフェポルク	9	(豊川インターグループホームみそのにて毎週水・金に障がい者のための認知予防講座、月1回認知症カフェポルクあり)
寺社仏閣	5	(砥鹿神社等)
墓	4	(金沢墓園等)
江島町新田	1	
自宅	4	(自宅から自宅まで等)
自由な乗降	2	
スギ薬局	1	
バス停間の移動	1	
沢山増えてほしい	1	
千両三上線と接続できるところ	1	
橋尾	1	
バス停	1	
公園	1	(丸塚公園)
学校	1	
生涯学習会館	1	
未回答	61	
合計	126	

※複数回答

（１０）ご意見・ご感想

- ・「感謝・満足のことば」と「今後の実行希望」で、自由意見回答者総数の７割を占めている。

意見・感想の要約	件数
感謝・満足のことば	25
今後の実行希望	11
乗降スポット増加の希望	9
運転手の対応の良さ	3
現在のコミュニティバスへの不満	1
運行時間帯延長の希望	1
感謝と利便性向上の提言	1
その他	1
合計	52

2-5. 未利用者アンケート結果

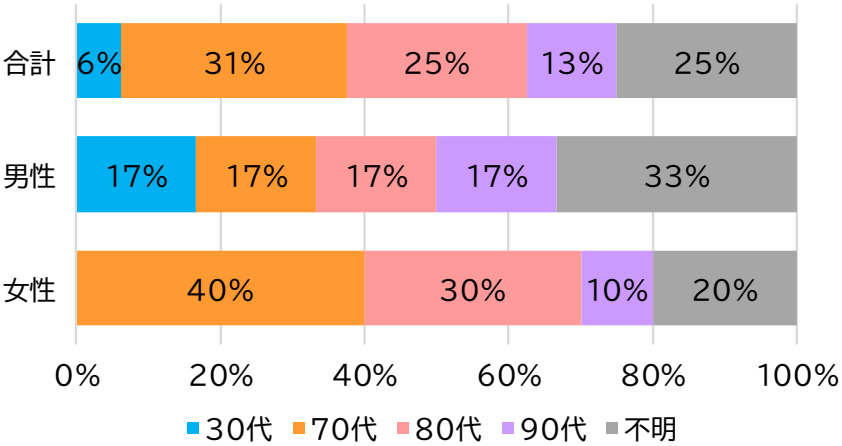
(1) 回答者数

16件

(2) 年齢・性別

・女性の回答が多く、合計では70代以上が96%を占めている。

	女性	男性	合計
10代	0	0	0
20代	0	0	0
30代	0	1	1
40代	0	0	0
50代	0	0	0
60代	0	0	0
70代	4	1	5
80代	3	1	4
90代	1	1	2
不明	2	2	4
合計	10	6	16



(3) お住まいの小学校区

・小学校区別の回答数は一宮東部小学校区が最も多い。

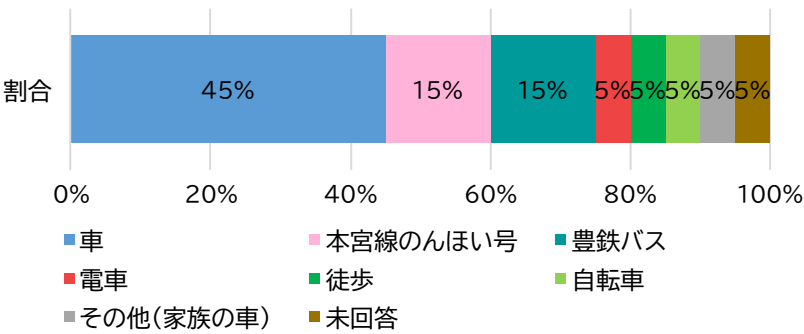
小学校区	回答数	割合
一宮東部小	10	63%
一宮西部小	3	19%
一宮南部小	1	6%
その他	1	6%
未回答	1	6%
合計	16	

(4) 普段の移動手段

・「車」が45%で最も多い。公共交通は「豊鉄バス」と「本宮線のんほい号」が同割合である。

移動手段	回答数	割合
車	9	45%
本宮線のんほい号	3	15%
豊鉄バス	3	15%
電車	1	5%
徒歩	1	5%
自転車	1	5%
その他(家族の車)	1	5%
未回答	1	5%
合計	20	

※複数回答

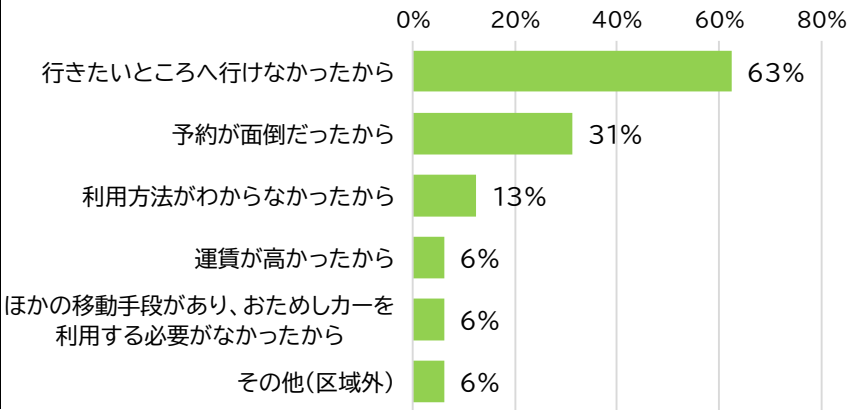


(5) おためしカーを利用しなかった理由

・「行きたいところへ行けなかったから」が約6割を占め、次いで「予約が面倒だから」が多い。

理由	回答数	割合
行きたいところへ行けなかったから	10	63%
予約が面倒だったから	5	31%
利用方法がわからなかったから	2	13%
運賃が高かったから	1	6%
ほかの移動手段があり、おためしカーを利用する必要がなかったから	1	6%
その他(区域外)	1	6%
回答者数	16	

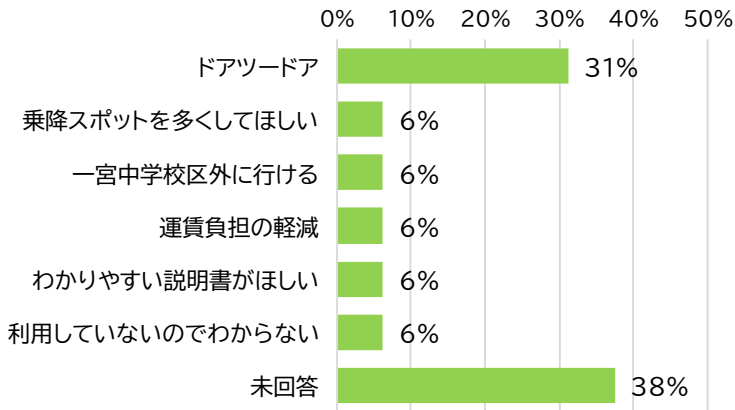
※複数回答



(6) おためしカーがどのように改善されたら、利用したいと思うか

・「ドアツードア」への改善が最も多く、約3割を占めている。

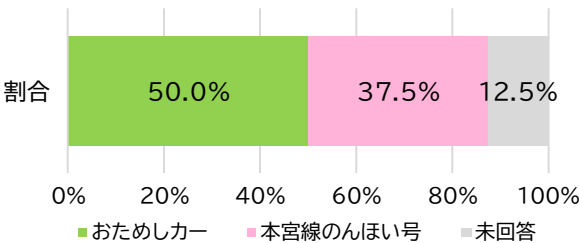
改善要望	回答数	割合
ドアツードア	5	31%
乗降スポットを多くしてほしい	1	6%
一宮中学校区外に行ける	1	6%
運賃負担の軽減	1	6%
わかりやすい説明書がほしい	1	6%
利用していないのでわからない	1	6%
未回答	6	38%
合計	16	



(7) おためしカーとコミュニティバス本宮線のんほい号のどちらの方がいいか

・「おためしカー」が半分を占めている。
・「おためしカー」の方がいい理由は「バス停が遠い」、「時間を待たずに乗れる」が多く、「本宮線のんほい号」の方がいい理由は「行く先がわかりやすい」の回答がある。

	回答数	割合
おためしカー	8	50.0%
本宮線のんほい号	6	37.5%
未回答	2	12.5%
合計	16	



（８）おためしカーの乗降スポットにしてほしい場所

- ・「病院・医療機関」の回答が多い。

乗降スポットにしてほしい場所	回答数
病院、医療機関	4
カフェ	2
お墓	1
未回答	12
合計	19

※複数回答

（９）ご意見・ご感想

- ・未利用者のアンケートであるが、「今後の実行希望」の回答がみられる。

意見・感想の要約	回答数
今後の実行希望	2
ドアツードアの希望	1
事業者からの説明不足の不満	1
現在のコミュニティバスへの不満	1
合計	5

２－６．事業者アンケート結果

（１）今回の実証実験についての困りごと、大変だったことなど

① 電話対応面

- ・通常のタクシー利用か「おためしカー」利用か、判別が難しいケースがあったこと。
- ・事前登録がない予約の場合、利用エリア確認に時間がかかったこと。

② 管理面

- ・予約の手間がかかったこと。
- ・当日予約の場合、空車確認と管理が大変だったこと。

③ 配車面

- ・平日８時台の利用は契約輸送が占めるため、「おためしカー」の要望対応が厳しいこと。
- ・通常のタクシー利用者に配車できなくなったこと。
- ・配車が予定の時間に間に合わず、遅れることがあったこと。

④ 周知状況面

- ・ルール外の対応を求められ、理解を得るのに苦慮したケースがあったこと。（バス停近くの施設までの迎車要望。決められた目的地以外での下車要望 等）
- ・「おためしカー」の仕組みを十分に理解されないまま依頼の電話が入ることが多く、電話対応で制度説明に時間を要することがあったこと。
- ・行きの依頼時に、往復予約が成立していると誤解され、催促の連絡を受ける例があったこと。
- ・依頼した交通事業者と異なる他方の交通事業者に問合せを受ける例があったこと。
- ・利用者が行きたい目的地に近いバス停がどこかの問合せを受けることが多かったこと。
- ・コミュニティバスの休止を知らず、「おためしカー」の依頼を受けた例があったこと。

⑤ 交通事業者内の状況

- ・乗務員や運行管理者の理解が十分でないところもあったこと。
- ・乗務員によっては、一宮地区への回送頻度が増加して営業効率が低下したことに不満があったこと。

（２）今回の実証実験について、メリットや良かったと感じられること

- ・稼働が少ない時間帯に仕事が増えたこと。
- ・仕事の増加による乗務員や運行管理者のモチベーションが向上したこと。
- ・普段タクシーを利用していない方にとっては、タクシー移動の便利さや魅力を実感してもらえたこと。

（３）ご意見・ご感想

① 運行面

- ・稼働が少ない土日祝日の日中に、おためしカーが運行して稼働率が上がると良いと感じた。
- ・デマンド利用と通常のタクシー利用を切り替えられる柔軟性の確保が、利便性向上につながると感じた。
- ・市内のタクシー車両の状況把握により、効率的な運行ができればと感じた。
- ・一宮地域内に稼働車両が少ないことによる車両手配の難しさを感じた。

② 制度面

- ・事前登録制にすることで、利用者・交通事業者双方にとって円滑になると感じた。
- ・出発地や目的地、利用できる人が限定されることへの疑問。

③ 周知面

- ・周知方法の検討の必要性を感じたこと。（電話対応で制度説明に時間を割いたこと、ルール外の要望を受けること、往復を予約したつもりの勘違い、同じ方が良く利用する など）

④ 実証実験面

- ・実験開始までの準備期間が短いと感じたこと。
- ・２週間では分からないことが多いと感じたこと。

⑤ 今後の期待

- ・タクシーが公共交通機関の１つとして再認識されること。